

## 一緒に歩むために、発達障害を知ろう！事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

- 「軽度発達障害」という名称だけは一般にも知られるようになったが、その正しい特性や対応を知っている人は少ない。発達障害は人口の1割程度の発生率であり、この障害を持つ人は環境の影響を受けやすく、社会との不調整が生じやすいとも言われている。
- 「発達障害児・者及び家族支援の会 シーズ」は、地域社会に発達障害理解の種を撒き、芽を育て様々な資源を結びつけること、種が育つ豊かな土壌を作ることを中心に設立され、誰もが安心・安全に生活ができるよう、障害児・者及びその家族に対する支援、地域社会のひとりでも多くの人に軽度発達障害の特性と対応の正しく理解してもらうための活動を行っている。

### 事業内容

- ホームページを開設し、軽度発達障害に対する正しい知識と対応の仕方、質疑応答等の情報発信を行った。  
URL <http://www.seeds2008.org/>
- 軽度発達障害理解のための講演会の実施（200名参加）  
11月29日（土）諏訪市湯小路いきいき元気館
- 勉強会、相談会の開催
  - ・臨床美術教室（7回）
  - ・成年後見制度勉強会（1回）
  - ・ガンダムプラモ教室（6回）
  - ・ペアレントトレーニング（9回）等



【講演会の様子】

### 事業効果

- 200名が参加した講演会の実施や、ホームページの開設により、軽度発達障害についての正しい理解が促進できた。
- 不登校、ひきこもり、ニート、非行、家庭内暴力、幼児虐待等の実際の相談を受け、支援関連機関へつなぐことができ、また日常生活での改善点の指導などを実施できた。
- 公的支援制度を学ぶことにより、実際にタイムケア制度などを20名ほどが利用できるようになった。また、当事者や保護者を相談会、勉強会から実際の検査や訓練につなげ、社会適応や二次障害の防止に貢献した。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 軽度発達障害の理解と問題を解消するにあたり、引き続き相談会や勉強会、講演会などを実施していく。次年度は支援者のスキルアップのためのボランティア養成講座の開催を予定している。
- 支援関連機関との連携による支援会議への同行や参加を通し、障害児・者及び家族と地域社会との不調性の改善に注力するとともに、就労体験や社会参加など地域と当事者を結びつけ、地域全体が活性化していく「干し柿づくり」などの事業を創生し、障害があってもなくても豊かに生活できる地域社会づくりに貢献できる活動を行なう。

#### 【選定のポイント】

軽度発達障害に関する県内でも数少ない支援団体として、幅広く活動を行った。今後も活動を継続していくことで、発達障害に対する理解の促進、支援の輪が広がっていくことが期待できる。

|     |                              |       |          |
|-----|------------------------------|-------|----------|
| 団体名 | 発達障害児・者及び家族支援の会<br>シーズ（下諏訪町） | 事業タイプ | ソフト事業    |
| 連絡先 | 代表 武山 弥生 電話 0266-75-0788     | 事業費   | 657,000円 |
|     |                              | 支援金額  | 657,000円 |